

第 3 学 年
文 系

2025年度 国語 科 年間授業計画表								
科目名		文学国語		単位数	2	学年・類型	3年	
担当者		使用教科書		筑摩書房『文国708 文学国語』			副教材	
科目の目標 (指導目標)		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。						
評 価 の 観 点 と そ の 趣 旨								
①知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。						
②思考・判断・表現		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。						
③主体的に学習に取り組む態度		言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。						
評 価 方 法								
授業態度・クラス内発表・課題・定期試験								
学 習 指 導 計 画								
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの目標	評価の観点				
				①	②	③		
1 学 期 前 半	第2章 交差するドラマ 小説（一）	舞姫	①豊太郎とエリスの間に何があったのか、語りの時制や文体・時代背景なども意識して、物語を読み味わう。 ②夏目漱石「こころ」と読み比べて、「明治」という時代の特徴について話し合う。 ③我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ④人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	○	○	○		
1 学 期 後 半	第2章 交差するドラマ 小説（一）	舞姫	①豊太郎とエリスの間に何があったのか、語りの時制や文体・時代背景なども意識して、物語を読み味わう。 ②夏目漱石「こころ」と読み比べて、「明治」という時代の特徴について話し合う。 ③我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ④人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	○	○	○		
	第8章 調べとリズム 詩歌	小景異情	①選び抜かれたことばの、洗練されたリズムを味わう ②言葉の、想像や心情を豊かにする働きを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の意味することを理解する。					
2 学 期 前 半	第3章 新たな視座を得る 随想・評論（二）	絵画は紙幣に憧れる	①隠喩の機能を理解し、未知の見方を手に入れる ②本文のタイトルと、文中の表現に着目し、文学的なレトリックを駆使した文章を読み解く。 ③「絵画は紙幣に憧れる」という標題はどのようなことを表しているのか。本文を踏まえて話し合う。 ④芸術作品の「価値」について論じる。					
	第5章 表現を突き詰める 随想・評論（三）	無常ということ	①筆者の心の動き・思考の進行に思わず釣り込まれ、深い思索へと導かれる、不世出の文章の秘密を考える。 ②この文章の発想・書き方にはどのような特色があるか、理解する。 ③人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	○	○	○		

2 学 期 後 半	第8章 未来を問う 随想・評論（四） 現代文演習	寛容は自ら守るために 不寛容に対して不寛容 になるべきか	①著者の、慎重にことばを選び紡ぎ出す姿勢や表現を学び、文学作品の 読解に生かす。 ②村上春樹「沈黙」を読み、「寛容」であることの意義について話し合 う。 ③文学作品を通して未来への思考を深める ①限られた時間内に正確に読解する。 ②2種類の文章を比較検討する。 ③マーク式の回答を検討する。	○	○	○
3 学 期	現代文演習		①限られた時間内に正確に読解する。 ②2種類の文章を比較検討する。 ③マーク式の回答を検討する。 ④難しい文章に挑む。 ⑤問いに対して字数制限内で正しく回答する。	○	○	○
留意事項						

2025年度			国語科		年間授業計画表		
科目名		古典探究	単位数	4	学年・類型	3年文系	
担当者			使用教科書	古典探究 古文編・漢文編(第一学習社)		副教材	
科目の目標 (指導目標)		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
		(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。					
		(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
		(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
評 価 の 観 点 と そ の 趣 旨							
①知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。					
②思考・判断・表現		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。					
③主体的に学習に取り組む態度		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。					
評 価 方 法							
授業態度 ・ 発問評価 ・ 発表 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期テスト							
学 習 指 導 計 画							
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの目標	評価の観点			
				①	②	③	
1 学 期 前 半	説話（一）	沙石集 「歌ゆゑに命を失ふこと」	①著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 ②説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ③編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主に助動詞に関して、理解を深める。				
	随筆（三）	枕草子 「宮に初めて参りたるころ」	①日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ②随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。				
	物語（四）	源氏物語 「夕顔」	①長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ②長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。	○	○	○	
	逸話	「不顧後患」	①古代における臣下の立場を理解するとともに、呉王に対する少孺子の説得の巧みさを読み取る。 ②逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。				
	史記の群像	史記「荊軻」	①刺客が存在した時代背景を知り、荊軻を始めとする登場人物の心理とともに、秦王暗殺事件の顛末を読み取る。 ②史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。				

1 学 期 後 半	物語（四）	源氏物語	①長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ②長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			
	（五）	大鏡 「三舟の才」	①歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の姿に触れる。 ②歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。			
	評論（一）	無名抄 「深草の里」	①和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、俊恵が考える和歌の評価基準を理解する。 ②歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。	○	○	○
	史記の群像	史記「荊軻」	①刺客が存在した時代背景を知り、荊軻を始めとする登場人物の心理とともに、秦王暗殺事件の顛末を読み取る。 ②史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。			
2 学 期 前 半	評論（一）	無名草子「清少納言」 「紫式部」	①著名な作品の女性作者二人を二百年後に批評した文章を読んで、歴史の伝承のしかたの一端に触れる。 ②評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			
	評論（二）	去来抄「行く春を」	①松尾芭蕉とその門人たちの、句作をめぐる具体的な苦心や理念を読み取り、俳諧に対する理解を深める。 ②俳論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			
	史記の群像	玉勝間「兼好法師が詞のあげつらひ」 史記「張儀」	①『徒然草』の一節を批判する作者の論理を理解し、古文を評価する態度や手法について考えを深める。 ②文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ①遊説家が活躍した時代背景を知り、張儀の行動や自信、蘇秦が張儀に仕掛けた策謀の顛末を読み取る。 ②史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ③作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ⑤語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ⑥我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	○	○	○
	漢詩の鑑賞	古体の詩「石壕吏」	①構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ②漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③漢詩の特徴について理解を深める。 ④漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ⑤我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。			
2 学 期 後 半	古典演習		①限られた時間内に正確に読解する。 ②2種類の文章を比較検討する。 ③マーク式の回答を検討する。	○	○	○
3 学 期	古典演習		①限られた時間内に正確に読解する。 ②2種類の文章を比較検討する。 ③マーク式の回答を検討する。 ④初読の難しい文章に挑む。 ⑤問いに対して字数制限内で正しく回答する。	○	○	○
留意事項						

2025年度 国語 科				年間授業計画表			
科目名	現代の国語演習	単位数	2	学年・類型	3年		
担当者		使用教科書	現代文長文記述問題集3 (い い ず な 書 店)		副教材	国語便覧（浜島書店） 頻出漢字マスター3000（尚文出版）	
科目の目標 (指導目標)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次にとおり育成することを目指す。 (1) 実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
評 価 の 観 点 と そ の 趣 旨							
①知識・技能	実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。						
②思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。						
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。						
評 価 方 法							
記述の点検、確認、分析 行動の点検、確認、分析 (定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取組状況、授業への取組状況 等)							
学 習 指 導 計 画							
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの目標	評価の観点			
				①	②	③	
1 学 期 前 半	評論	問題演習	・「長文を読解するための10のポイント」を活用して、長文を速く正確に読む方法を身につける。	○	○	○	
			・「テーマ解説」を読むことで、本文のテーマへの理解を深め、知識と視野を広げる。	○	○	○	
1 学 期 後 半	要約・小論文	新聞の社説・新書	・「記述問題を解くための10のポイント」とわかりやすい「採点基準」「採点例」により、減点されない答案の書き方を身につける。	○	○	○	
			・段落ごとにキーワード・キーセンテンスを抜き出せる。 ・筆者の主張を把握する。 ・字数制限の中で筆者の述べたいことをまとめることができる。 ・筆者の主張に対して自分の意見を例を挙げて表現できる。		○ ○ ○	○	
2 学 期 前 半	評論	問題演習	・「長文を読解するための10のポイント」を活用して、長文を速く正確に読む方法を身につける。	○	○	○	
			・「テーマ解説」を読むことで、本文のテーマへの理解を深め、知識と視野を広げる。	○	○	○	
2 学 期 後 半	要約・小論文	新聞の社説・新書	・「記述問題を解くための10のポイント」とわかりやすい「採点基準」「採点例」により、減点されない答案の書き方を身につける。	○	○	○	
			・段落ごとにキーワード・キーセンテンスを抜き出せる。 ・筆者の主張を把握する。 ・字数制限の中で筆者の述べたいことをまとめることができる。 ・筆者の主張に対して自分の意見を例を挙げて表現できる。		○ ○ ○	○	
3 学 期	評論	問題演習	・「長文を読解するための10のポイント」を活用して、長文を速く正確に読む方法を身につける。	○	○	○	
			・「テーマ解説」を読むことで、本文のテーマへの理解を深め、知識と視野を広げる。	○	○	○	
3 学 期			・「記述問題を解くための10のポイント」とわかりやすい「採点基準」「採点例」により、減点されない答案の書き方を身につける。	○	○	○	
留意事項							

2025年度 国語 科				年間授業計画表			
科目名	言語文化演習	単位数	2	学年・類型	3年文系選択		
担当者		使用教科書	精選言語文化（第一学習社）	副教材	国語便覧（浜島書店） 完全マスター古典文法（第一学習社）		
科目の目標 (指導目標)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分への思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う						
評 価 の 観 点 と そ の 趣 旨							
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。						
②思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。						
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読者に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。						
評 価 方 法							
記述の点検、確認、分析 行動の点検、確認、分析（定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取組状況、授業への取組状況 等							
学 習 指 導 計 画							
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの目標	評価の観点			
				①	②	③	
1 学 期 前 半	随筆文	枕草子 「はしたなきもの」 徒然草 「花は盛りに」	・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主に用言の活用について、文語のきまりを理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。文語のきまりを理解する。	○ ○ ○	○		
1 学 期 後 半	漢詩	唐詩	・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。	○	○	○	
2 学 期 前 半	日記文	土佐日記「亡児」	・記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主として助詞について文語のきまりを理解する。 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。	○	○	○	
2 学 期 後 半	漢文	文章「桃花源記」	・漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、桃源郷の由来ともなった理想郷のあり方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・『老子』の「小国寡民」と読み比べる課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。	○	○ ○ ○		
3 学 期	俳諧	「奥の細道」	・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・句に感動の中心がある俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている作者の人生観や旅の意味と言った、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする	○	○ ○ ○		
留意事項							